

令和7年度スマートグリーンハウス人材育成研修



農林水産省「令和7年度スマートグリーンハウス展開推進」

一般社団法人日本施設園芸協会×大阪公立大学植物工場研究センター 共催

【講義】第1回 7月29日（火）「植物工場の現状と課題」 ※7月22日まで受付中！

【講義】第2回 8月19日（火）

「施設園芸作物の生態・生理」

植物工場で生産される主な野菜類について、その生態的、生理的特性を学び、栽培管理のスマート化について考えます。

1) 13:00～14:15 施設園芸におけるスマート化の動向



安 東 赫（農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域
施設野菜花き生育制御グループ グループ長）

果菜類の施設栽培では、環境条件と生育を紐づけ、計画的なコントロールにより、周年安定生産を可能にすることが極めて重要です。本講義では、生理・生態学に基づいた果菜類の物質生産について解説します。

2) 14:25～15:40 環境制御に生かすイチゴの生理生態



岩崎 泰永（明治大学農学部 教授）

イチゴの生育と環境条件、養分条件の関係を定量的に把握し、生育制御に活用する方法を解説します。

3) 15:50～17:05 植物工場・施設園芸における葉菜類の生態・生理について



丸尾 達（公益財団法人 園芸植物育種研究所 理事長、
株式会社 リーフ・ラボ 代表取締役）

葉菜類の植物工場や施設園芸生産では相対的に高い生産性が必要で、成長速度の大幅な向上が求められます。本講義では、そのような条件下で問題になる生理障害等に関わる葉菜類の生理・生態的特性についてお話しします。

今後の開催スケジュール

【講義】

第3回 10月21日（火）

「植物生産管理におけるデータ取得
および有効利用」

第4回 12月19日（金）

「植物工場の未来と物質循環」

【実習】

第1回 9月11日（木）

「養液栽培関連技術」

第2回 11月12日（水）

「植物環境応答の解析」

- 会場：大阪公立大学植物工場研究センター
大阪公立大学中百舌鳥キャンパス C21棟2階
※オンライン受講も可能。
※一部の講義は開催後に録画配信を予定。詳細はご
案内のホームページをご参照ください。

■ 参加費：10,000円/1日

■ 申込締切日：8月12日（火）

- 詳細案内、お申し込みは、大阪公立大学
植物工場研究センターの
ホームページをご参照ください。

<https://omu.info/pfc/>



セミナーお申込みの流れ

大阪公立大学植物工場研究センター（PFC）で開催するセミナーの一般的な受講の流れです。
お申込み前に必ずご確認ください。

お申込み

1. PFCのホームページのセミナーの案内ページ内「申込フォーム」ボタンからアクセスし、必要事項をご記入の上、送信してください。インボイス対応請求書の要否もお知らせ下さい。
2. 受付完了の自動返信メールが届きます。
※自動返信メールが届かない場合はPFC事務局へお問い合わせください。

インボイス対応請求書が不要な場合

振込先ご連絡

3. 事務局より振込先をご連絡します。

インボイス対応請求書が必要な場合

請求書送付

3. 本学の取引先として請求書情報を確認／登録の上、事務局より請求書をお送りいたします。

お振込み

4. 各セミナーの申込・振込期限までに指定の口座へ参加費をお振込みください。
参加費は各セミナーの案内リーフレットまたはHPでご確認ください。

- ・誠に勝手ながら、振込手数料をご負担いただきますようお願い申し上げます。
- ・金融機関振込時に発行される振込明細書等をもって領収証書の発行に代えさせていただきます。
領収証書の発行はしませんのでご了承ください。
- ・参加費入金後の返金はいたしかねます。

個人情報について： お申込みの際の個人情報は、申込み後の事務連絡、統計資料等の作成およびセミナーのご案内に使用いたします。
利用目的以外の使用はいたしません。

受講案内

5. 開講日の3日前～前日までに申込フォームへ記載されたメールアドレス宛に受講の案内をお送りします。

来場形式の場合

日程と来場の際の注意事項などを送ります。

オンライン形式の場合

日程とオンラインの詳細（ZoomのID・PW等）を送ります。

キャンセルについて： お申込みの後に受講できなくなった場合は、PFC事務局へ必ずご連絡ください。
なお、参加費をお振込み後の返金はいたしかねます。

当日

6. お申込時に選択した参加方法、もしくは各講座で指定された方法でご参加ください。

来場形式の場合

各講座で指定された会場へ直接お越しください。

オンライン形式の場合

メールに記載のリンク等からオンライン講座にご参加ください。

カリキュラムについて： 本年度のカリキュラムは、一部、オンライン形式の講義のみへの変更または中止となる場合があります。ご了承ください。

PFC
R&D Center for Plant Factories, OMU

